



横芝

広報

横芝町の人口と世帯

<1月31日現在>

常住人口	11,865人
男	5,600人
女	6,265人
世帯数	2,798戸

新入学児童の 交通事故防止対策

お母さん方にお願ひ

入学式を間近にして今年から小学校に入る子どもさんたちは、胸をふくらませていることと思います。しかしこの時期は、冬の寒さから解放された車と人の動きがはげしくなり、交通事故が急増します。地域社会、家庭、運転者の皆さんがお互いに協力しあって、いたましい新入学児童の

入学式までに、お母さんと子どもさんがいっしょになって、小学校までの通学路を歩いてみて、途中の危険箇所をよく教え、次のような安全な通行方法を具体的に教え

- 1、横断歩道橋、横断歩道のあるところでは、少しくらい回り道でも必ずこれを利用させる。
- 2、道路を横断するときは、必ず止まってまず右を見、つぎに左を見、もう一度右を見て、自動車が来ないか自動車が止ったかを確かめ、たうえて横断し、急にとび出すことのないようにさせる。
- 3、横断の合図は、手や黄色い旗やハンカチなどで、運転者によくわかるようにはっきりとする習慣をつける。とともに、手などで合図をすれば車はいつでもすぐ止まるものと思ふのは、あや
- 4、斜め横断や車の直前、直後の横断は危険であること、具体的には教へ理解させる。
- 5、信号機のある場所では、信号の見方をよく教へ、信号に従って渡るとともに、青信号になっても右、左をよく見て渡ること、すでに青信号になっているときは、渡る途中で信号が変わることがあるので、次の信号を待って渡る(信号二回待ち)ことなどを習慣づける。

て家を出るようにし、忘れものなどないように必ず前晩にそろえさせておき、出かける前は絶対に叱らないことです。そして次のような注意を与えて気もちよく見送ってやりましょう。

- 1、学校への行き帰りは、きめられた道を集団であるくように
- 2、途中でかけ出したり、ぶざけたり、道路一ぱいになったりしないで、右側をきちんとならんで歩くように
- 3、家庭に帰ってからも、道路や路切の付近では遊ばないようによく注意し、常に子供の遊んでいる場所を確認する



新任の真行寺助役

就任挨拶 助役 真行寺 勇

私は、二月五日付で横芝町助役を拝命いたしました。負荷の重責を思いますときに、身の余りにも非才であること、を敷き、且つ恐れずにはい

誠実謹厳な新助役

教育界に二十余年

新しい助役さんば明治四十一年の生れ。昭和三年千葉師範を終え、郡内各小学校をまわり、横芝小学校の教頭、菱田小学校、緑海小学校の校長

そのあと木材会社を経営するなど事業経歴も持つておられ、二十五年には町社教委員長も勤められました。小柄ながらその経歴からも察せられるように、満身これ誠実謹厳、しかも齢(よわい)耳順。すべての物事の道理をさとし、何を聞いても理解できる境地に達しられた助役さんが、「非才であるが命がけで努力する」と謙虚な言葉で述べておられるのもまことに奥ゆかしく、町長の良い片腕となって活躍されることでしょう。就任決定が偶然にも立春の日であったことから、横芝町の行政は明るさを増すものと期待されます。

地域社会福祉の増進に

横芝で関係者が研究会

県および郡社会福祉協議会（長から社福事業実施状況を主催の町村社福相互視察研究会）説明して討議研究を行いました。二月十日横芝町役場で開催され、郡内各町村から役場の担当課長、民生委員総務など二十余名と、山武支庁長、県社福組織部長ほか五名が講師または助言者として出席されました。

この催しは、各町村輪番で会場を受け持ち、当番町村の事例発表を中心として研究討議を重ねていくというもので、今回が第一回の会合でした。

先ず、押尾住民課長から町の福祉施策についてその概況を、市原社福会



写真は社福の視察研究会で挨拶する山武支庁長

各町村出席者から活潑な質問や意見の開陳があり、これに対し県、郡の助言者から適切な指導助言があつて、午前十時から午後四時までミツチリと協議、研究し、多大の成果をおさめました。

現在の横芝町社会福祉協議会は、行政に依存する度が高く、自主的な活動は消極的であるので、更に住民一般の認識を高めるとともに、その理解と協力とによって早急に改組改革を行い、住民の中に根を張った民間団体としての体制を整えて、行政施策と表裏の関係を保ちながら、積極的に、福祉に欠ける状態を究明してその解決を図り、明るく住みよい地域社会の実現に努めなければならぬと考えられています。

国保の保険証を更新

四月一日から桃色のものに

四月一日から国民健康保険の保険証が更新されます。新しい保険証は桃色になり、番号も変わるので、これまでの黄色の保険証は使えなくなり、従って古い保険証は新しいのと引かえに役場へ返していただくこととなります。新しい保険証は目下作成中

ですからでき上り次第お届けしますが、若し古い保険証に書いてある世帯員に異動や変更がありましたら、新しい保険証の記載事項を訂正する必要があるため、至急に申し出て下さい。このこととは又、保険税にも関係があります。というのは保険税は四月

国保運委かわる

会長は藤城頭義氏

国民健康保険運営協議会の委員が任期満了したため、一月一日付で新たに委嘱替えされました。

この協議会は国保事業の運営に関し、町長の諮問に応じ、または自主的な協議を行なう機関で、被保険者の代表、国民健康保険医師及び歯科医師の代表、公益代表のそれぞれ三名の委員で構成されています。

新しい委員の顔ぶれは次のとおりです。（敬称略）

- | | |
|-----|-----------|
| 委 員 | 藤 城 頭 義 |
| 会 長 | 平 山 清 |
| 委 員 | 押 尾 猷 一 |
| 委 員 | 笹 本 金 次 郎 |
| 委 員 | 鈴 木 定 夫 |
| 委 員 | 野 村 義 寿 |
| 委 員 | 越 川 薫 |
| 委 員 | 実 川 喜 昌 |
| 委 員 | 渡 辺 勅 夫 |

税金が減免される

資産買換えの特例

土地や家屋などの資産を売った場合は、その譲渡益に対して所得税や町県民税がかかりませんが、次のような場合には「居住用財産の買替の特例」の適用を受けられます。

①個人が土地や家屋を売り
②その売った日の前後一年以内に居住用の土地や家屋を買い

③一年以内にその人および扶養親族が住宅に使用し
④土地や家屋を売った年分の確定申告書にこの特例の適用を受けた旨を記載し
⑤売った資産と買い換えた資産の譲渡所得の計算明細書などを添付して確定申告書を提出することになります。

この特例を適用しますと売った代金の全部を、買い換えた資産の取得にあてた時は、譲渡所得による所得税は課税されません。また売った代金に残りがでたときは、その残った金額だけに課税されることとなります。

また、土地や家屋を売った日から一年以内に買い換える予定で、それが年をまたがるときは所得税の確定申告の際

に、住宅の取得予定年月日、取得予定価格などについて、「見積額の承認申請書」を提出して税務署長の承認を受ければよいのです。

次に「事業用資産の買換えの特例」について説明しますと、この特例も居住用財産の買換えの場合と同じように①個人が事業用として使っている特定の資産を売り
②売った年の翌年（工場移転など特別の場合には更にその翌々年）の十二月三十一日までに、代りの特定の資産を取得し
③その取得した日から一年以内に事業用に使用し
④税務署に所定の手続きをすることになります。

右の「特定の資産」というのは、一般的には土地、借地権など土地の上に存在する権利、建物とその付属設備、構築物、機械装置などをいいます。また税務署への所定の手続きも居住用財産の買換えの場合と同じです。

なお詳しくは税務署または役場税務課へお問合せください。

国をささえる若い力

陸 海 空

自衛官募集

詳細は役場企画課まで

卒業期少年の非行

家庭も社会もともに防止に 協力しましょう

卒業期を控えた少年は、進路と就職とを問わず、将来に対する期待と不安が入り混って、精神的に不安定な状態におちいり、僅かな刺げきや失敗がもとで非行にはしる例が多くあります。家庭でも、職場でも温かい理解と協力をもつてこの転機を切り抜け、明るい未来を切り拓いていくように努めよう。

家庭の方に

少年の態度、行動をよく見守り、ふだんと変った行動をしたり、入学試験や就職試験に失敗しても、一途にそれ

めなで慰めはげましてや本人の能力以上の期待をかけた、無理な負担になるような要求を避け、つねに和やかに話あいのできるふん囲気をつくって、適切な指導助言をしてやりたいものです。

職場の方に

つねに少年の心配ごと、悩みごとの相談相手となり、不健全な場所への出入りや酒、タバコを無理にすすめたりしないよう、
休日、余暇の過ごし方については健全なリクリエーション

天幕とオルガンを寄付

松尾ライオンズクラブ

松尾ライオンズクラブは、去る一月二十二日横芝町の各学校へ、天幕二張とオルガン六台を寄贈されました。
横芝中学校へ
四米×六米天幕 二張

横芝小学校へ
電気オルガン 二台
上坪小学校へ 同右
大給小学校へ 同右
各学校では同クラブ員の芳志を心から感謝しながら、寄贈されたものを。

に参加させるように考えてや、被害にあって、非行を犯した時でも、できるだけ早く

善処して、正しい道を進ませるように導いてやりたいものです。

ふる里の話題

大原幽学と横芝町

七月二十五日、出立して東金に至り、翌る二十六日屋形村千神(海保氏綱主)に至り性学数日。
十月四日、屋形村に至り、五日清水村に至り、六日飯倉村に至りて十日屋形村に帰る。天保八四年(一八三七)五月二十三日前文略中にも海保の姓沙村ぬしは、学びし事は即ち行い勤めらるるを、なを学び励しく、殊に博覧也故に多く爰に逗留しけり。時に八月に至りて長部村本蔵子の使として儀七、清吉の二人馬を引いて迎へに来る。僕一

度別れせし故、いなめども聞きわけ無く只泪にむせび居る而已なれば、余儀なくして同道して本蔵子の宅に至りければ、方々より友人集り来て僕を誘はんと乞う。故に余儀なく行きて、ついに北総の友人へ不残行く事に成りぬ。
(以上にある海保沙村とは、地方で学者として知られ、多くの文人墨客と遊交があったことは記録に残っている。幽学が爰に度々足を止めたのは相互に意気投合したからである。尚使いをうけた長部村に帰った模様等は里人が幽学



大原幽学先生の肖像
(千好意に)

に寄せた信頼が察せられて當時が髣髴として来る。
天保九年(一八三八)三月四日、三人の送りにて屋形村に帰りとう留。ある景物に、上総の国屋形の郷なる海保

末たのもしき事ぞとおもふと記し示す(この景物とは幽学が海保家一同の孝心と家人達の睦みあう有様を賞して書き与へたもので、各所で善行を賞でて景物を出している。三月十七日にも海保忠蔵に於て左の如き景物を与えて

五郎八主は命のあらむ限りを祖父と父母とに奉りてもと、孝の一つに心を極められしとなんこと。
母ぬしも亦夫婦の其の孝の切なるを感じ其の志に随はれてさること只ならず。弟徳蔵ぬ

是をきく人毎に感涙の溢るる者多しとなん。斯くしてこそ君が子孫の保すからむと思ひて予が心のありのまゝを演る

世にも残らん。
(是は屋形村海保、浅野其他

○前号でお断りしてあります通り、本稿は土屋栗水氏(本名源吾)の研究によるもので○印の部分は総て原文のままて扱っております。そのため原文の雰囲気を考えて文章形態を「である」「された」といった方式を探りました、尚本稿に出て来る「景物」とは引出物(ひきでもの)のことである、と筆者栗水氏から説明をいただきました。次号では屋形村里人の徳化親交等を中心とした事柄を掲載し完結とする予定です。

△未完△

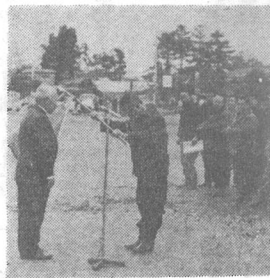
中台伊藤さんの豚が優秀賞を獲得

山武畜産共進会で

山武郡畜産農業協同組合主催の、第十六回山武郡市畜産共進会が二月二日横芝中学校々庭で開かれました。

郡内各市町村から乳牛約五十頭、種豚約二十頭が出品され、校庭は時ならぬ家畜の集団におそわれたよう、モーモープープー騒々しいばかりの賑やかさでした。

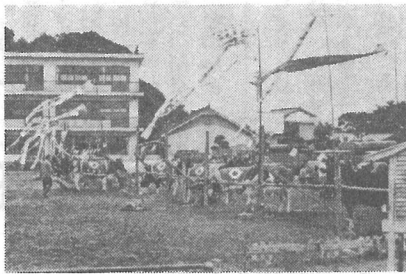
豚八頭が出品されましたが、審査の結果は総合優勝が成東



写真(上) 優秀賞を受ける伊藤敏道さん

(下) 出品された自慢の乳牛

町で、横芝町は二位でした。しかし中台の伊藤敏道さんの豚(ランドレース経産)が優秀賞を獲得して、横芝町のために気をはいてくれました。



見舞金の受領5件 交通災害共済

県の交通災害共済制度は昨年九月一日に始められてから半年になりました。最近の町内の加入状況は十二月に六十五人、一月に七十二人、二月に六人というように増えて現在二、一八二人で加入割合は五人に一人弱となっています。事故にあわれた方への見舞金の支払状況は、五万円二件、二万円三件の計五件となっているそうです。

栄養教室を開催

修了証書も交付

この共済の期間は八月三十一日までで、あと六ヶ月ですが、掛金は一月割二十五円です。これは、①婦人会を中心とした一般主婦を対象にして、②栄養知識と調理技術を修得させ、保健衛生の実をあげる目的で、③農閑期を利用して毎週一回(三時間程度)、④保健所長、栄養士、保健婦によって栄養学や保健衛生の講座と、調理の実習を行ない、⑤三回受講した者には修了証書を交付するというものです。先般来、東町や栗山、町原などで開催して大変評判が良かったのですが、他の部落またはグループで開催を希望される向きは、住民課へ申し込まれるよう望んでいます。

二月二十八日から三月十三日まで、全国的に春の火災予防運動を実施し、日常生活における火災の発生防止と、人命損傷事故の絶滅と取組んでいます。

火の元点検、タバコのしまつを厳重に

春の火災予防運動

心強い南風が吹きまくり、気温が上がって空気が乾燥する、したがって火事が起りやすくなるのです。言い古された文句ですが、災害は思いがけない、ちょっとした油断から起ります。就寝前や外出時の火の元点検の励行

万一火事になったら

電話通報は二一九番へ有線なら交換台へ

警察の電話は二一〇一一番役場の電話は二一一一一番

全国共通の「一一〇番」は、成東警察署指令室につながります。

横芝俳壇



横芝句会二月例会作品抄

横小 川島 啓明
四温の火話落るところまで落る

鳥沼 高埜 孝子
一片れの冬雲記憶の人を忍ぶ

栗山 若梅あやめ
着ぶくれし我豚の如しと子等のいう

栗山 田島 千女
言合いて冷えた唇日記閉す

古川 藤代 ゆう
梅が香や叙敷を報せる墓の道

清水 斉藤ちくろ
重き封書にポストの音の冴えかえる

鳥下 市原 文緒
飛行機雲枯野を遠く沈みけり

横小 古内 青人
回想の春をぬくめる四温の陽

栗山 小沢 春光
皿ひとつ桶に残して寒の水

清水 川島 松路
寒椿公務の旅の途中下車

横小 高品 虎洞
早春や雲に立つ子の耳朶の色